

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【2班】

地 区 コ ミ	野下地区コミュニティ協議会			参加人員	20人	
開 催 日 時	平成25年 8月 6日（火） 19：00 ～21：00					
開 催 場 所	野下地区コミュニティセンター					
出 席 議 員 （ 担 当 ）	議 員 名	出欠	担 当	議 員 名	出欠	担 当
	佃 昌樹	○	記録・報告書作成	今塩屋 裕一	○	司会進行
	大田黒 博	－		下園 政喜	○	
	井上 勝博	○	議会活動報告			

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 薩摩川内市全域における消滅集落の発生状況等について

《意見交換の概要》

- ◆ 限界集落の実態は愛護作業ができない。人的労働支援をお願いしたい。
- ◇ 地区コミや建設業者のボランティアをお願いするのも手立ての一つとしてある。
定住、若者の活用が大事では。
- ◆ 牛鼻集落は地区コミュニティセンターから2キロの位置、集会にも来れない。公民館の共有地の名義変更に15万円かかる、8戸しかない中でその必要があるのか。やはり人的援助がなく、危険個所の放置もある。限界集落は農業には適しているが、補助金等が手元に来ない。いろいろ課題が多い。
- ◆ 身体障害者だが、自治会へ草刈のお願いができないか？
- ◆ 避難場所については、地区コミュニティセンターが最適だが、危険ということで避難所の指定がない。小学校の体育館が避難所になっているが、避難所の体をなしていないし、障害者にとってはとてもじゃないが避難できない（例：手すり、トイレ等）。危険性が指摘されているので砂防ダムを何とか解決してほしい。
- ◇ 防災安全課につないでみる。

2 僻地や過疎地区における生活環境の向上策について

《意見交換の概要》

- ◆ デマンド交通の運行については地域住民と綿密に協議してもらいたい。道路が狭いため戸口から戸口というわけにはいかない。実態に即した運行を望む。
- ◆ 生活圏がいちき串木野市になる。串木野への運行が可能か。
- ◇ 当局と折衝してみる
- ◆ 商売をやっているので移動販売については反対である。以前、移動販売でもめたことがある。
- ◆ バス運行についても地域実態を考慮してもらいたい。消防車が下野下まで行けないが、そこまで行ってもらいたい。
- ◇ それぞれの所管課に伝える

◆ 難聴者の方がデマンドを頼むことについてはどうしたらよいか。

◇ 自治会の中でのお互いの共助に頼るのがより効果的では。

◆ 全国初、小学校跡地をボーイスカウト拠点としての活動と地域の協力、これからの地区の取り組みについて（夏キャンプ、秋の運動会）等の定着を考えているとの報告

3 その他（フリートーキング）

《意見交換の概要》

◆ 税の引き落としをしているが、引き落としができないと1ヶ月後には督促料100円ついて連絡が来る。1回目ぐらいは忘れていることもあるので通知で済まされないか。

◆ 高額医療費の還付や払い戻しについて、申請しなければならないことはわかるが、当局からの通知がほしい。一言の連絡がほしい。

◇ 通知することになっているはず、確認する。

◆ 川内原発の再稼働の住民説明会はいつになるのか。

◇ 現状ではわからない

《主な要望等》

◆ FM薩摩川内の放送がこの地域は入らない。入るようにできないか。

◆ 大きな岩を抱いた大木が、椎の木くい虫の被害を受け、木が枯れてきている。崩れてこないのが不思議なぐらいなので、安全診断をしてもらいたい。（私有地）

◇ 地区コミまたは自治会で要望されるのがいいのでは。

◆ 放射線モニタリング機器が設置されている。放射線について必要なことは住民に説明をすべきでは。